



春の

藤原まつり

2年ぶりの開催

5月1日から5日まで5日間にわたり開催された春の藤原まつり。期間中32万4千人の観光客が訪れました。2年ぶりに開催された祭りの前半は好天に恵まれたものの、3日から4日にかけては天候が崩れ、メインの源義経公東下り行列の出迎え行列をはじめ、一部の行事が中止や変更となりました。

雨の東下り行列

祭りの開幕を告げた1日の稚児行列。華やかな衣装に身を包み、烏帽子や宝冠をかぶった3歳から6歳の子どもたち71人が中尊寺本堂から金色堂までの参道を練り歩きました。源義経公東下りが行われた3日は朝からあいにくの雨模様。このため午前

中に予定されていた出迎え行列は、残念ながら中止となりました。出迎え行列の中止は、俳優の藤原竜也さんが義経公に扮した平成11年以来。この日のために練習を重ねてきた長島小学校合奏団や平泉小学校金管バンドも予定を変更して平泉駅前や平泉小中庭での演奏となりました。本行列は予定通り開催。12時30分、毛越寺本堂から義経公役の溝端淳平さんが登場すると詰め掛けた多くの観客から歓声が上がりました。沿道には色とりどりの傘の花が広がり、雨の中の東下りとなりました。5日には藤原まつりを締めくくる弁慶力餅競技大会が開催。今回で87回目を数えた大会には22人がエントリー。観光で訪れた外国人観光客も出場し、大会を盛り上げました。

